

2018・3・16

本日3日目の報告をさせていただきます。

さて、今日は生徒全員が時間までに登校し、昨日よりも笑顔で登校した生徒が多かったです。昨日と同じようにスクールバスに乗り込み、現地の学生が待つラングリーセカンダリースクールへ。2回目のせいか、お互いに緊張がとけてきたのか、会話もはずんでおり、コミュニケーションをとる前向きな姿勢が見えてきました。そしてプレゼンテーションの時間。今日は5～8が前半、後半は1～4でした。昨日と同じようにプレゼンテーションが行われましたが、また同じように質問も色々出ていたようです。そして、昨日「カンロで過疎地域を救え」の1班のプレゼンテーションを聞いた現地の生徒が「カンロ」について、とてもとても興味を持ったようで、何とかまた生徒から聞きだして食べてみたいと思ったようです。現地生徒たちが嬉しそうに食べている姿も見受けられました。

次に、昨日と同じようにランチの時間。また生徒たちは、お互いのランチボックスを覗きあい、お話しを楽しみながら食事を楽しんでいたようです。生徒から「量が多いので残しても大丈夫ですか」と質問があったので無理はせず、残して問題はないという事も話しました。ただ必ずマザーにランチを作ってくれたお礼を伝えること、そしてお腹がいっぱいで食べることが出来なかったという事、その一言でマザーも安心し、量を調節してくれるかもしれません。頑張っって英語で意思を伝えることで、無理をすることがなくなります。生徒も一つ一つ新しい発見とチャレンジです。

今日の午後は、現地の学生のクラスにお邪魔して授業を体験するというのがありました。春休み前でスケジュールのチェンジ等があったようですが、国語・数学・生物・社会・歴史・フランス語・イタリア語・ギター・クッキングなど色々な授業にお邪魔させてもらったようです。生徒は半分ずつに区切って半分が体験、半分はその図書室にてできるだけ交流の取れるアクティビティという事で、ゲームを中心に現地校生と盛り上がっていました。

また授業に参加した生徒たちは、現地学生と共に楽しそうに帰ってきました。「イタリア語は分からなかったですがジェラートを食べたくまりました。楽しかったです。」また、ギターのクラスでは創作音楽を聴きながら、先生が作った？ケーキを頂いたとか。図書室で行っていたゲームの中には、「雲」、と言ったら「空」というような言葉の連想ゲームのような形で、その言った言葉のパフォーマンスをするというゲームもありました。日本人生徒も恥ずかしがりながらも最終的には堂々と即座に考えたパフォーマンスも披露できたようです。現地校の生徒と共に大きな笑い声が聞こえました。

そしてお別れの時間です。2日間お世話になった現地校の生徒とリチャード先生にお別れを言い、バスに乗りこみました。お互いに自然にハグして抱き合っていた生徒もいました。2日間、良い時間を過ごせたようです。

生徒のアンケートからみえてきたこの研修の目標。「消極的な自分を変えたい!」、「世界を知りたい!」、「何でも挑戦する。日本ではできない事に飛び込む」等、頼もしいです。既に「沢山カナダ人と話して仲良くなって帰りたくない!」と書いてくれた生徒もいます。皆それぞれが、この研修に対して「何か」を

感じとっているように思います。色々な事を吸収し、学んでここでしか出来ない事を体験をしてもらいたいと思います。

さて、明日はいよいよUBCです。また生徒にとって、あらたな刺激をうける1日になることでしょう。生徒の様子をみながらしっかりサポートしていきたいと思います。

以上が報告となります。

宜しくお願い致します。

アイエスエイ 添乗員 原田





